

# 放課後等デイサービス自己評価表(公表)

公表:2025年 1月 10日

事業所名

放課後デイサービスレモン②レモン

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		身体を動かすことが好きな子が多いので、出来るだけ運動フロアと勉強や静かに遊ぶフロアに分けるようにしている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			児童指導員8名(内保育士免許3名・作業療法士1名)を常時3名以上配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			1階の共通スペースは玄関をフラット化し、車いすでも利用できる設備を整え、2階フロアと階段、トイレには手すりを設置している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			月1回会議、月3回以上のケース会議、また何か問題点があった際には職員全員で利用者情報や支援方法を統一する様努めている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			年1回アンケート調査を実施しアンケートに基づいた結果を公表している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページにて公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在、実施の予定はないが今後必要に応じて導入の検討をしていく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			月1回、同一法人内での内部研修を実施し、各自にはスキルアップの為研修を促している。また、BCPや感染症対策、身体拘束、虐待についての研修も行っている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			面談、連絡ノートや送迎時の報告相談を行う中で情報を得て、計画を立てている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		事業所独自のアセスメント様式である為、現在改善を検討中。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			毎月、日々のプログラム、課外活動場所を全員で考案し、担当者が作成している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			利用者さんに希望用紙を配付し、参考にしながら作成するように努めている。プログラムは療育、歌、ダンスや季節に合ったプログラムを取り入れて
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休暇中には皆で一つの事を作り上げる作業を入れたり、プールやBBQ等を取り入れている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者アンケートや個人支援計画書を元に日々の子供の状況に合わせて計画している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援開始前には役割分担を決め、支援内容を確認している。また、何か共有することがあれば社内メール等を用いて周知している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			その日あった問題や気づいた点は報告し共有している。休みの職員にも伝わるように、社内メール等のツールも活用している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			業務に関する記録は全て残している。
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年に一度モニタリングを行い計画を見直している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	○			担当者会議では児童発達支援管理責任者が参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			毎週、又は毎月の予定表をもらい、送迎時にも担任の先生と確認をとっている。また、気になることがあればカンファレンスの場を設けている。

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		何かあった際の主治医の連絡先や指示書等必要な情報を全て個別のファイルにて保管している。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		出来るように努めている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		支援内容、情報の準備はしている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		定期的に研修を開いている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	他事業所との交流会を行う機会はあったが、障害のない子ども達との交流の場はまだ機会が設けられていないため、今後検討していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○	出来るだけ参加するよう努めている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		発達検査結果など可能な範囲で教えて頂き、面談、連絡ノート、送迎時に報告相談を行い情報交換をし、共通理解をしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	今後取り入れていけるよう努める。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に丁寧な説明を心掛けている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		相談、悩みがあれば面談の場を設けたり、1度持ち帰って職員間での共有と会議を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	新型コロナウイルス感染症拡大により、そのような場を設けることはできなかったため今後少しずつ話を進めていく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		適切な説明、対応をし報告書にも残している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月、行事やプログラムの詳細案内や活動通信等を配布している。また、紙媒体で配布するだけでなくブログにも掲載するようにしている。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		十分注意している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		相談の上、保護者や利用者の意思を第一に考え作成している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	地域の方も参加できる夏祭りなどを開催したいと考えたが、コロナの関係上厳しかった。少しずつ緩和されているため、今後検討していく。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		防犯、緊急時対応のマニュアルを作成し資料を配付している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		地震や火災等の避難訓練を年に2回実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		定期的に虐待、身体拘束の研修を開きスタッフ全員で討論している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		事前に保護者に十分な説明をし、了解を得た上で計画をし、記載している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		現在アレルギーのある利用者は在籍していないが、今後アレルギーがある利用者へのおやつや食事提供の対応を検討する必要がある。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		共有するとともに1つの事例を取り上げ、それに基づいてスタッフ間で検討会を行っている。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。